



モンテネグロ (Montenegro)



- モンテネグロへの援助総額は2014年までに累計46.73億円。
- 民間セクター開発、環境保全、保健医療・教育の分野で、無償資金協力、研修員受入れを始めとした技術協力による支援を実施。
- 現在は、同国の経済成長にともない、技術協力及び草の根・人間の安全保障無償資金協力による支援を実施。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 13,812平方キロメートル(福島県とほぼ同じ)
- ・人口: 62万人(2015年)
- ・首都: ボドゴリツァ
- ・民族: モンテネグロ人(45%)、セルビア人(29%)、ボシュニャク(9%)、アルバニア人(5%)等
- ・言語: モンテネグロ語(公用語)、セルビア語等
- ・宗教: キリスト教(正教)、イスラム教等
- ・政体: 共和制
- ・議会: 1院制(定数81名)
- ・GNP: 45.9億ドル(2014年, 世銀)
- ・一人あたりGDP: 7,337ドル(「国連統計部サイト」)
- ・経済成長率: 1.8%(2014年, 世銀)
- ・失業率: 17.6%(2015年, モンテネグロ統計局)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

6-7世紀	モンテネグロ人等スラブ系民族がバルカン半島に定住
15世紀後半	オスマン帝国のバルカン半島進出に伴い、同帝国の領域に入る
1878年	ベルリン条約によりモンテネグロ公国の独立承認
1910年	公国から王国となる(1916年に王政廃止)
1918年	第1次世界大戦後、セルビアに編入され、ユーゴスラビア王国の一部となる
1941年	第2次世界大戦中、イタリアに占領されユーゴスラビア王国消滅
1944年	「ユーゴスラビア社会主義連邦共和国」(6共和国で構成)の1共和国となる
1992年	ユーゴ解体の中で、セルビアとともに「ユーゴスラビア連邦共和国」を創設
2006年	「モンテネグロ共和国」として独立を宣言
2007年	国名を「モンテネグロ」に変更

援助実績

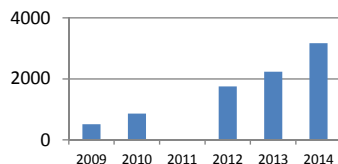
スキーム	額(累計)／人数(延べ)
無償資金協力	38.88億円 (2014年度末時点)
技術協力	7.85億円 (2014年度末時点)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からモンテネグロへの輸出	6285億円 (2015年度, 財務省)
モンテネグロから日本への輸出	416億円 (2015年度, 財務省)
在モンテネグロ日系企業数	4社 (2014年, 外務省)

モンテネグロを訪れる日本人観光客 (出典: モンテネグロ統計局)



(注) 2011年はデータ無し

人的つながり

項目	人数(直近年)
モンテネグロにおける在留邦人数	10人(2014年, 外務省)
在日モンテネグロ人数	12人(2015年, 法務省)
モンテネグロから日本への留学生数	1名(2015年, JASSO)
日本からモンテネグロへの観光客数	約3,166人(2014年, JNTO)

日本とモンテネグロとの協力年表

年代	案件
2006年6月	モンテネグロ独立
2006年7月	日モンテネグロ国交関係樹立
2006年	一般無償資金協力「中核病院医療機材整備計画」(供与限度額4.41億円)
2007年7月	ラドゥノビッチ保健・労働・社会福祉大臣訪日
2009年	一般文化無償資金協力「モンテネグロ国立劇場音響及び視聴覚機材並びに楽器整備計画」(供与限度額3,980万円)
2010年	一般無償資金協力「ボドゴリツァ市上水道システム緊急修復計画」(供与限度額5.96億円)
2011年	10万ユーロの義援金等拠出による対日支援を発表
2012年6月	ローチェン外務・欧州統合大臣訪日
2012年	駐日名誉総領事館設置
2012年	モンテネグロ政府等の招待により、セツ浜町中学校の生徒一行がモンテネグロを訪問、コトル市に滞在
2014年10月	ブラホビッチ科学大臣訪日
2016年7月	初代駐日モンテネグロ大使就任

CTスキャナーやX線診断装置などの医療機材を供与。これにより、診療項目が増えるとともに患者数や手術件数・診断件数が増加。



日本は、同劇場に対し、可動式の音響機材、演出効果用プロジェクター、コンサート用グランドピアノ購入のために必要な資金調達の支援を行った。



日本は、ボドゴリツァ市の給水量の約45パーセントを担うマレザ第2ポンプ場において、ポンプやモーターなどの送配水関連機材の更新と、施設稼働・送配水状況のモニタリングシステムの導入を支援。



セツ浜中学校の生徒一行はモンテネグロ政府等の招待により、コトル市に滞在し、現地の学校視察や現地の子供との交流プログラムに参加。



2016年モンテネグロを訪問した滝沢外務大臣政務官は、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ボドゴリツァ市シュタンバル・マカリエ小学校校舎修復計画」の引渡式に出席。1,700人もの生徒が通う同校の学習環境は大きく改善。